

2024/8/10~12・8/30~9/1

# 能登半島支援活動

勝浦ゼミナールⅡ 宮原&結城

## きっかけ

2024年1月1日に発生した石川県能登地方を震源とする地震では、死者341人、うち災害関連死170人（2024/09/21現在）、全壊家屋6,273棟といった甚大な被害が発生しました。特に輪島市では、断層の動きにより最大約4メートルの隆起が確認され、道路や水道管などのインフラも大きな損害を受けました。私たち学生は、長期休みを活用して、この地域の復興支援に貢献したいと考え、災害ボランティア活動に参加しました。

## 活動内容

8/10

午後 七尾市 被害状況視察

8/11

午前 珠洲市 狼煙 寺家 被害状況確認

午後 納涼祭出店準備、出店活動

8/12

午前中 珠洲市社会福祉協議会 引越し

分別、ゴミ集積場への運び出し





8/30

七尾市旧西岸小学校ベースキャンプ到着、災害NGO結（yui）からの活動説明会、被災状況の説明、支援物資の運用方法

8/31

午前 能登町引越し活動 荷物分別、廃棄所への運び出し

午後 輪島市被災状況視察

9/1

午前 輪島市 家財運び出し

午後 輪島市 荷物分別、廃棄所への運び出し、貴重品整理

災害NGO結（yui）

Amazonほしい物リスト



## このボランティアを通じて

このボランティアを通して感じたことは、支援の方法にはさまざまな形があるということです。たとえば、現地に直接行って支援活動に参加することはもちろん、支援物資を送ることも有効な手段の一つです。実際に、災害NGO結ではAmazonほしい物リストを活用して支援物資を募集しています。現地での活動だけがボランティアではなく、このように物資を提供する形の支援も大切なボランティアの一環です。

また、災害発生後、時間が経つにつれて被害や影響に対する関心が薄れていくことがあります。それを防ぐためには、被災地の状況をSNSなどで継続的に発信し、支援の必要性を広く伝え続けることが重要です。

